

現業協だより No.5

自治労福島県職連合現業協議会 2019.3.11

2019 福島県職連合現業協議会大会開催

2019年1月19日、第13回現業協議会定期大会が福島市で開催された。県職連合澤村書記長、県本部現業評議会紺野議長のあいさつ、紺野長人県議からのメッセージに続き、報告事項、議案について全て了承され、2019年の新役員体制がスタートした。最後に、今年度で定年退職になる役員からあいさつがあり参加者全員が労をねぎらい閉会した。

2019年役員体制

会長	田中光一	副会長	草野浩一
副会長	菅野人司	事務局長	小林祐一
"	小林 淳	事務局次長	二瓶正則
"	鳴原 武		

2019 関東甲・東北地連県職現業共闘会議幹事会及び試験研究機関職員学習会が開催

2019年2月15日から16日に福島市で関東甲・東北地連県職現業共闘会議幹事会及び試験研究機関職員学習会が開催された。幹事会では、各県の新規採用状況の報告があり、船舶・試験研究・獣疫等が採用されており、本県でも当局に対して直営の必要性を強く訴える事がさらに重要になってきている。また、自治労本部現業局長の小迫局長も加わり、試験研究機関職員の学習会も行われ、様々な意見交換が活発に行われた。

第二回現業協議会常任委員会を開催

2019年2月23日、郡山市で第二回常任委員会が開催された。役員の任務体制、今後の組織強化策について確認した。その中で、組合員数が減少している中、多くの課題を解決していく必要があり、特に再任用職員の給与改善は急務であるために、今回、再任用賃金対策委員会を立ち上げ今年度で退職する複数の旧役員に顧問になつていただき、待遇改善に向けた取り組みをおこなっていく事にした。さらには、役員の空白地区対策や次の役員候補の育成にも専門員の方々に加わっていただき、同じ人が役員を続けるのではなく、多くの方に役員を担つてもらう工夫を今後は進めていく事も確認した。組織強化策では、職能別学習会を開催し、まず動物愛護と農管・動管で開催し、全ての職種で職能別集会の開催をする事とした。また、職場の実態や組合員の声を吸い上げるのに特に重要な、全職場巡回も少しずつできる範囲で進めていき、組織強化・活性化に向けて取り組んでいく事を全員で確認した。

編集後記

先月の県職連合臨時大会で退職者に対する功労者表彰5名のうち現業職員は4名を占めていました。現業組合員数は減少していますが、現業職の県職連合に対する自治労運動への取り組みが強い表れである事を感じました。私たち現業職が存在し組織が強化することで県職連合を底上げし、組織強化につながると思います。今後も、県職連合本部の協力をいただきながら、現業協議会の強化に向けて役員一丸となり積極的に進んでいきたいと思います。

みなさんも諦めずに結集して頑張りましょう！！県民は望んでいます！